

2017年3月22日
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社
日本マイクロソフト株式会社

あいおいニッセイ同和損保と日本マイクロソフト、 全社員の働き方改革推進に向けて協力 統合型情報共有クラウドサービス「Office 365」を導入開始

MS&ADインシュアランス グループの あいおいニッセイ同和損害保険株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：金杉恭三、以下あいおいニッセイ同和損保）と日本マイクロソフト株式会社（本社：東京都港区、代表取締役 社長：平野拓也、以下日本マイクロソフト）は、マイクロソフトの統合型情報共有クラウドサービス「Office 365」を活用した全社員の働き方改革の推進に向けて協力します。

あいおいニッセイ同和損保は、「Office 365」の採用を決定し、2017年5月までに、全社員13,260名への導入完了を目指します。システム導入はMS&ADインシュアランス グループのシステム構築・運用を担うMS & ADシステムズが実施します。日本マイクロソフトは「Office 365」の円滑な導入を技術支援いたします。

あいおいニッセイ同和損保は、社員が明るく元気にやりがいを持って働くことのできる環境整備・支援施策の拡充を進めています。子育て支援、介護支援制度だけではなく、「毎週の早帰り日の設定」や「年次有給休暇の計画的付与制度」、当社独自の形での「プレミアムフライデー」の導入、生産性の向上を意識した働き方「企画業務型裁量労働制」の導入などの取り組みを行っています。

この度、「Office 365」の利活用により、さらに生産性を高める働き方改革を推進します。社員同士のコミュニケーションとコラボレーションの強化、時代の変化への対応力、企業競争力の高い先進的な損害保険会社を目指します。

■採用の決定理由、導入メリット

1. 社員の社内、外出先でのコミュニケーションや組織横断のコラボレーションが実現可能
2. Outlook を活用したメール、スケジュール等の各機能の連携が強化されていることに加え、Yammer を活用した社内SNSや Skype for Business によるオンライン会議等の新たなコミュニケーション機能の利活用により、業務効率化、コミュニケーションの活性化が期待できる
3. 国内2拠点（東日本、西日本）にある堅牢性を備えたデータセンターからサービスが提供され、災害対策環境が整備されている
4. 「Office 365」が、日本セキュリティ監査協会JASA-クラウドセキュリティ推進協議会が制定した「クラウド情報セキュリティ監査制度」において、日本初となる「クラウドセキュリティ（CS）ゴールドマーク」を取得し、高いセキュリティレベルが確保されている
5. パブリッククラウドサービスのため、短期間で新たな社内コミュニケーション基盤の導入が可能

あいおいニッセイ同和損保は、「Office 365」で提供される機能を最大限活用し、社員の働き方の進化を続けます。

日本マイクロソフトは、金融機関における高度なセキュリティレベルの確保と働き方改革による生産性向上、イノベーションの拡大を支援します。